



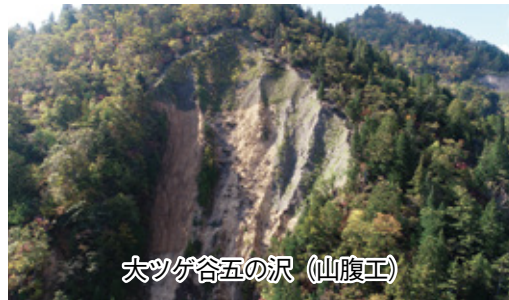
モネの池

板取川の周辺には多くのキャンプ場があり、河原でのバーベキューや水遊び、鮎釣り等を楽しむため、他県からも多くの観光客が訪れます。近年ではモネの池と称される

岐阜森林管理署 板取川治山事業所
治山技術官 加藤 里実
板取川地区民有林直轄治山事業地は、福井県と岐阜県の県境、岐阜県関市板取にあり、清流として有名な長良川の支流、板取川の最上流域に位置します。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



大ツゲ谷五の沢 (山腹工)

業を実施することとなりました。さらに、平成三十年の七月豪雨により当事業地と隣接する滝波谷地区で大規模な山腹崩壊、土砂流出が発生し、濁水等による被害が発生しました。早急に崩壊地や荒廃渓流の復旧対策に着手する必要があります。地元や岐阜県からの強い要請を受けたため、令和元年度より滝波谷地区が区域追加されました。

観光地が整備され話題のスポットになっていきます。板取川地区では平成十四年七月の台風六号通過に伴う集中豪雨により大規模な山腹崩壊や渓岸浸食が発生したことで大量の土砂が流出しました。観光業や鮎の生育等への影響が懸念され地元から要請を受けたことから、平成十六年より民有林直轄治山事業



滝波谷の山腹崩壊

現在、滝波谷地区では、大規模崩壊地の復旧に向け、既設作業道の林道規格への改良及び新設工事により工事用道路の整備を進めています。また、崩壊地源頭部においては、今後の対策を検討するためボーリング調査を行っています。県内各地で甚大な被害を受けた当時私は、岐阜県庁治山課に出向中であつたことから、その中でも被害規模の大きかった滝波谷地区を、民有林直轄治山事業に区域追加するための調整等を担当していました。全体計画の作成、地元や関係機関との合意形成等、プロセスの大変さもありませんが、何よ



工事現場の立会確認中の筆者

りも民有林直轄治山事業という制度の意義を実感しました。地元の方の「不安を感じていたが直轄治山事業として早期に取り組んでもらえることで安心した、感謝します。」という言葉が心に残っています。今後とも工事を実行していく重要性を再認識し、引き続き取り組んでいきたいと思つています。

■未来の担い手へのメッセージ
近年、豪雨災害が頻発している中、治山業務は大切な役割を担っています。治山は難しい業務との印象を持つかもしれませんが大変やりがいのある業務です。是非興味を持ってくださると幸いです。